

ここが私の Pride in Our University 大学自慢



留学先 シエナ外国人大学
(イタリア)
留学期間: 2016.10~2017.7

University for
Foreigners of Siena

✈ 留学先を選んだ理由

ゼミの先生の勧めで
興味を持ったイタリア語を学びたくて選びました。

国際文化学部国際文化学科4年
(福岡高等学校出身)

おおほ たかゆき
大穂 貴之さん



公私ともに学びの詰まった留学体験

中学、高校ではラグビーに打ち込み、スポーツ中心の生活でしたが、大学ではそれまでに経験のなかった留学に挑戦したいと考えました。ゼミの山田順准教授の勧めもあり、1年次からイタリア語を学び、2年次の夏に、シエナ外国人大学での1カ月間の語学研修に参加しました。外国人の学生とともに学びましたが、痛感したのは圧

倒的な語学力不足でした。「もっと話したい」という思いはあっても語学力がついていかず、思うようにコミュニケーションが取れなかったことを反省点として、日本に帰ってから猛勉強をしました。

そして、3年次の秋から再び同じ大学に留学をしました。最初の4カ月は寮に住み、毎日文法とオーラルの授業に励みました。文法の授業では毎日課題が出て、回を増すごとにレベルが上がっていくので置いていかれないよう必死に勉強しました。オーラルは折に触れ、プレゼンテーションがあり、自国の食文化や観光名所、スポーツなどの文化について語る機会がありました。「どう説明したら海外の人にも伝わるだろう」と試行錯誤しながら、プレゼンをまとめていく時間は大変有

意義なものでした。

放課後は学内のフリースペースでイタリア人やギリシア人の友人と課題に取り組んだり、週末はラグビーの6カ国対抗戦を観にローマまで出かけて、友人の実家に泊まったりしました。後半の半年間はイタリア人の社会人の方とシェアハウスに暮らし、イタリアの政治経済についてイタリア語で議論を交わすなど学外でも多くの学びを得ました。卒業後の進路はこれからですが、留学で得た国際的な視野や積極的に人と関わっていく力を生かして働きたいと思っています。

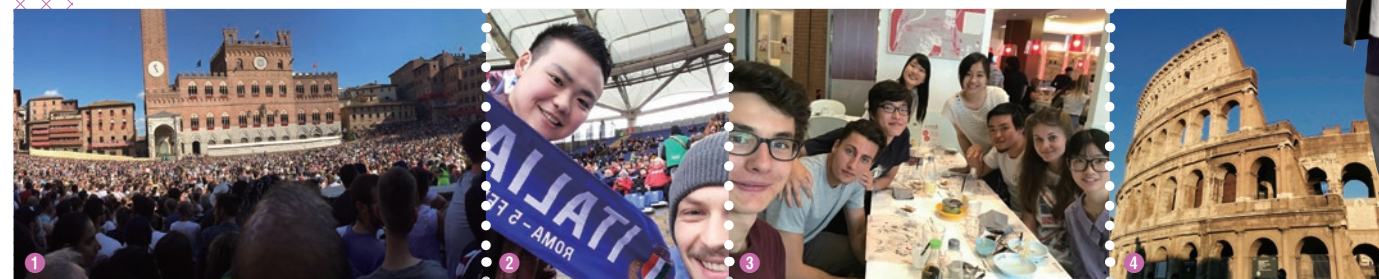
国際センター事務室の方が丁寧に対応してくださって大変助けられました。



景色や食文化も違う国に2度も留学したことで、見識や友人関係が広がり、大きく成長できました。



①中世から続く伝統行事、カンポ広場でのパリオ②イタリア人の友達とラグビーを観戦③クラスメートと日本食レストランで④ローマのコロッセオなど世界遺産も見学



国際交流協定校は現在26カ国89大学。
今後も協定校との活発な交流を通じて“国際色豊かな西南”の伝統を育みます。

西南学院大学で学ぶとは…

「大学」は「ユニベルシタス（universitas）」という全体を意味するラテン語を起源とし、元々は「教師と学生の団体」を指していました。歴史的に大学教育の目的は、学生に広く、普遍的な知識を与え、それを応用して社会に貢献できる人を育てることでした。それを考えると『キリストに忠実なれ』という建学の精神に基づき、「真理の探求および優れた人格の形成に励み、地域社会および国際社会に奉仕する創造的な人材を育てる」という本学院の使命は、本来の目的を反映していると言えます。

「西南学院大学はどんな大学ですか？」と尋ねられたら、多くの方が最初に思い浮かべるのは赤煉瓦の建物、パイプオルガンが目を引くチャペルや、松の並木道かもしれない。しかしもともとという言葉は建物よりも人（教師と学生）の学ぶ場を指します。言うまでもなく施設は学ぶ環境として重要ですが、更に重要なのは人と人との間のやり取り、コミュニケーションです。

西南学院大学の軸は学生、卒業生、教員、職員から成り立つコミュニティです。しかし大学はいわゆる「象牙の塔」という俗事や実際の事柄から遠く離れた場所ではありません。地域に開かれ、支えられ、地域と密接な関係にあります。

したがって、皆さんには、在学中にキャリアのために必要な知識だけでなく、豊かな生き方も学んでいただきたいと思います。

特集1

ここが私の
大学自慢

新しい顔である図書館をはじめ、西南学院大学ならではの誇らしい魅力がたくさんあります。この春から入学する新入生に、ぜひ活用してもらいたい大学の施設や環境、サポートを紹介します。

SEINAN
SpiritNo.
2042018
Spring

01

【特集1】

ここが私の大学自慢

【施設篇】「サポート篇」「なるほど篇」

■こんな時知っておくと便利！

■教えて！先輩 行きつけのアノ店

【特集2】特別対談

第157回 芥川賞受賞作家 沼田 真佑

× 西南学院大学 学長 K・J・シャフナー

【教育支援プログラム】

西南学院大学ならではの実践支援プログラム！

【学科フォーカス】

商学部商学科「演習Ⅰ」

人間科学部社会福祉学科「専門演習Ⅱ」

【Talk About】私たちの意見！

「今回のテーマ 友人関係」

【教授の研究紹介 教養のたね】

文学部英文学科 金子 幸男 教授

【こんにちは先輩】

福岡地所株式会社 キヤナルシティ博多事業部 副支配人

望月 未和さん

【就活Cafe】〈特別座談会〉

内定者の皆さんに聞きました。

就職活動でやっておくべきことは？

【先輩のお仕事白書】

凸版印刷株式会社 九州事業部 第一営業本部

鐘江 勇介さん

【SEINAN Event Report】

読売新聞読書教養講座を開催

〜土井善晴さん、沼田真佑さんが講演

本学卒業生の直木賞作家と芥川賞作家の二人が東京で対談

〜東山彰良さん×沼田真佑さん〜

【SEINAN News & Topics】

【時代を読む】

法学部国際関係法学科 佐古田 彰 教授

【SEINAN Information】

【SEINAN Information】

Pride in Our

ここが私の
大学自慢

新しい顔である図書館をはじめ、西南学院大学ならではの誇らしい魅力がたくさんあります。この春から入学する新入生に、ぜひ活用してもらいたい大学の施設や環境、サポートを紹介します。

University

荘厳な雰囲気
西南学院の象徴！



きよすえ のの
清末 乃々さん
文学部外国語学科英語専攻2年
(大分東明高等学校出身)

1987年に旧ランキン・チャペルに設置
(2009年に現チャペルに再設置)



Chapel

大学チャペル

毎週行われるチャペルアワー（礼拝）を中心に、式典、講演会、各種イベント等も可能な904人収容の施設です。九州でも有数の規模を誇るパイプオルガンの音色が美しく響きます。

■チャペルアワー 毎週火～木曜 10:35～11:00

学内で国際交流できるチャンス



I-House International House

アイ・ハウス

外国人留学生、研究者と日本人学生が共同で生活する「インターナショナル・ハウス（通称アイ・ハウス）」という国際寮で、留学生と在学学生が交流する拠点になっています。留学生の生活支援をする学生アドバイザーを毎年12月に募集しています。

国際センター事務室
E-mail
intl@educ@seinan-gu.ac.jp



西南クロスプラザ

カフェテリア方式の食堂と学生ラウンジがあり、約400人を収容できます。カツカレーや担々麺のほか、栄養バランスのとれた定食も人気です。軽食やドリンク、デザートも充実し、地域の方々を含め、幅広い年齢層の人で賑わいます。授業がない時間帯の休憩にもどうぞ。



利用時間 平日9:00～19:30、土曜10:00～19:30
休 館 日 日・祝 ※大学休学中は営業時間が異なる

Seinan Cross Plaza

外観も内装もスタイリッシュ



特集1

ここが私の大学自慢 [施設篇] Facilities

図書館や言語教育センターなどの学習施設はもちろん、大学チャペルや西南クロスプラザなど、学生生活に知識や食の面から豊かさを添えてくれる施設もあります。

3階までがアクティブゾーン



Library

図書館

7階建ての中央にそびえるブックツリーが印象的です。既存の図書館のイメージを覆すアクティブ・ゾーンが特徴で、グループ学習室、多目的ホールを備えています。1階にはカフェスペースを配し、くつろぎの時間を過ごせます。

利用時間 平日8:30～22:00
(他曜日、長期休暇期間、
定期試験期間は異なる)
休 館 日 不定
U R L <https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/>
E-mail lib-jm@seinan-gu.ac.jp



約80万冊収容可能な自動書庫

自由に使える語学学習室



Center for Language Education

言語教育センター

CALL教室3室、LL教室3室、AV教室4室、AVスタジオ教室、メディア学習室を備え、語学学習に活用できます。外国語教員が学習アドバイスをを行うオフィスアワーや、留学生とフリートークができるワールドカフェなど無料の課外プログラムも人気です。

利用時間 平日9:30～19:00
土曜9:30～17:00
(第4土曜を除く)
休 館 日 不定



勉強も
休憩も
図書館で



くわもと ちひろ
欽本 千優さん
神学部神学科3年
(熊本マリスト学園
高等学校出身)

他にも大学には、知っておくと便利な知識や注意して見ると興味深いものがあります。その一部を紹介するので、在学中、学内のさまざまなことに興味を持ってみてください。

学長と楽しく
お話できます！

Useful Knowledge 1 学長ランチ

2008年から始まった学長ランチは、学長と学生が同じテーブルを囲み、カジュアルな雰囲気でお話と昼食を楽しむ会です。開催日の数週間前にSAINSポータル（学内専用）の「お知らせ」で参加者を募集します。少人数で学長と話せる貴重な機会です。ぜひ、ご参加ください。



よしだ ゆかこ
吉田 裕香子さん
人間科学部心理学科3年
（筑陽学園高等学校出身）

Useful Knowledge 3 学内アート

2017年春に開館した図書館には、たくさんのアートがあります。これは「知的好奇心を駆り立て、想像力を解放するくつろぎの空間へ」との考えによるものです。また西南学院大学博物館にも数多くのアート作品が所蔵、公開されています。



上／図書館エントランスホールの正面に飾られているステンドグラス
左／土地、歴史、聖句にちなんだ言葉のアート作品

Useful Knowledge 5 サザエさん像と町子先生像

2016年の西南学院創立100周年、「サザエさん」生誕70年の記念すべき年に本学が制作し、福岡市に寄贈した像です。「サザエさん」の原作者である長谷川町子さんは、早良区西新に住み、百道の海岸を散歩しながら、サザエ、カツオ、ワカメ等の登場人物を考案しました。大学正門前の通りは「サザエさん通り」と名付けられ、地域でも親しまれています。



特集1 ここが私の大学自慢 [なるほど篇]

Useful Knowledge 2 聖書植物園

この植物園は、聖書に登場する植物を可能な限りキャンパス内に復元、展示したものです。1999年の開園時は、9種でしたが、現在は約100種の聖書関連の植物が季節を彩っています。



Useful Knowledge 4 西南学院オリジナルグッズ



西南パーカー
上/Aタイプ 下/Bタイプ
サイズ:S、M、L、XL
各2,980円(税込)



セナフィー
バラ134円、箱6個入り857円、
箱10個入り1,429円(すべて税別)

2016年の西南学院創立100周年を機に、オリジナルワインやオリーブオイル、パーカーなど多くのオリジナルグッズが誕生しました。定番の洋菓子は値段も手頃で、帰省する際のお土産としても人気です。

Useful Knowledge 6 元寇防塁

1号館を新築する際、元寇防塁の遺構が発見されました。出土した土塁は東西長さ20mもあり、歴史的な重要性を考え、出土した場所から約12m北東側に移築し、復元したものを展示しています。平日の9時～17時（夏季休暇中は10時～16時）に公開中です。



キャンパスに
歴史資料が
あるなんて！



からたに ももこ
川谷 桃子さん
商学部商学科2年
（修猷館高等学校出身）

知らない
と損するかも！
永久保存版!!

かわなべりょうすけ
川邊 峻介さん
商学部経営学科2年
（加治木高等学校出身）

留学、ボランティア活動、インターンシップなど、新しい挑戦が可能です。大学では、学生一人ひとりが安心して、生き生きとした学生生活が送れるように、サポートしています。ぜひ、活用してください。

Seinan Support 1 国際センター(2号館4階)

北米、ヨーロッパ、アジアを中心に、世界26カ国89大学と国際交流協定を締結し、交換留学や語学研修、キャリアアップ研修等、さまざまな海外研修プログラムを提供しています。受入留学生の学修・生活支援なども含めて、大学の国際関係全般を担当していますので、海外に興味がある方はぜひ足を運んでみてください！

自分に合うもの
を見つけよう！



Seinan Support 3 キャリアセンター 就職課(2号館3階)

学内就職説明会、就職講座、航空やマスコミ・公務員等の業界対策講座など、入学時から進路について考える機会を設けています。また、インターンシップの窓口や東京地区の相談窓口を用意するなど、学生の就職活動を支援するために、常にタイムリーな情報を収集し、提供しています。

困ったときは
まずここへ



Seinan Support 5 教務課(2号館2階)

カリキュラムや授業時間割の編成、試験、成績管理、卒業判定など、修学に関する全般を担当しています。また、教職課程や博物館学芸員課程の窓口も設けています。修学や課程履修に関する相談があれば、気軽にお訪ねください。

特集1 ここが私の大学自慢 [サポート篇]

留学の情報は
ここでチェック



Seinan Support 2 ボランティアセンター(1号館2階エレベーター横・キリスト教活動支援課内)

学生、教職員によるボランティア活動を支援しています。ボランティア活動には、ペットボトルキャップやお弁当容器の回収など身近なものから、東日本大震災や熊本地震、九州北部豪雨災害の被災地支援、海外でのボランティア活動などがあります。初めてでも参加できる活動を一緒に探します。

早めの準備で
憂いなし！



Seinan Support 4 学生課(2号館3階)

学生生活全般に関することを取り扱っています。学生係は、学籍相談、納入金や課外活動など学生生活について、厚生係は、奨学金等の経済援助について担当します。その他、保健管理室、西南会館や合宿研修所も学生課の管轄となります。

修学や履修に
迷ったら
相談しよう！



ほんだ あきひろ
本田 晃大さん
国際文化学部国際文化学科2年
（長崎東高等学校出身）

2018年度 学生ボランティア 募集中

「Spirit」の編集企画に参加して、
制作現場をのぞいてみませんか？
応募は広報課
(koho@seinan-gu.ac.jp)まで。



教えて！先輩 行きつけのアノ店

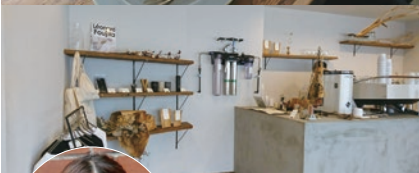
西新・百道など大学から徒歩10分程度のエリアには人気の店がたくさんあります。
現役西南学院大生の代表として学生ボランティアの先輩たちがレポートしてくれました。

Pride in Our
ここが私の大学自慢
University

My Favorite "Cafe"

siro coffee (シロ・コーヒー)

レポートが終わったらちょっと贅沢に！
また行きたくなるおしゃれな空間



こだま くるみ
児玉 胡桃さん
文学部外国語学科英語専攻2年
(福岡女学院高等学校出身)

住 福岡市早良区城西2-12-16
時 12:00~19:00
休 水曜、第1・3火曜

My Favorite "Cafe"

Cafe space Olympia (オリンピア)

1週間がんばったご褒美に
友達とケーキ♪



のみやま えみこ
許山 笑子さん
人間科学部心理学科4年
(玄洋高等学校出身)

住 福岡市早良区西新5-2-30 2F
時 11:00~19:00 休 水曜
HP <http://hanauta.biz>

My Favorite "Restaurant"

ひびか食堂

ひとりでもわざわざ行きたい
絶品のチキン南蛮定食！



てんがん はるかさん
天願 はるかさん
経済学部経済学科3年
(中村学園女子高等学校出身)

住 福岡市早良区西新4-4-20-8
時 11:30~15:30、17:30~23:00 休 木曜
HP <https://hibikashokudou.owst.jp/>

My Favorite "Snack"

蜂楽饅頭

授業が終わった後のおやつ。
1個100円でお財布にも優しい～



ゆあさ まりえ
湯浅 茉莉絵さん
文学部外国語学科英語専攻2年
(久留米信愛女学院高等学校出身)

住 福岡市早良区西新4-9-18-1
時 10:00~19:00(売り切れ次第閉店) 休 火曜
HP <http://www.houraku.co.jp/>

My Favorite "Restaurant"

洋風そば食堂 グリチネ

麺はもちろん、スープやパンも
そば粉尽くしてヘルシー



はやしだ あすか
林田 明日香さん
法学部法律学科4年
(修猷館高等学校出身)

住 福岡市早良区西新5-6-1-1F
時 12:00~15:00、18:00~24:00 休 月曜、第3日曜
HP <https://www.glicine-soba.com/>

My Favorite "Restaurant"

福岡市総合図書館 マルキーズ

百道浜のライブラリーレストラン。
勉強の合間にも、遊びの合間にも



いとう のぞみ
伊藤 希実さん
経済学部経済学科4年
(小倉西高等学校出身)

住 福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館1F 時 10:00~18:00
休 月曜、月末最終日(図書館の開館日に準じる)

こんな時

知っておくと便利！

Seinan Useful Information

大学生活を送る上で、さまざまなサポートをしてくれる強い味方が大学にはたくさんあります。知っておくと便利な情報を要チェック！

学生を助ける
サポートが
こんなに充実！

ひろた ゆき
廣田 千恭さん
文学部
英文学科3年
(城南高等学校出身)



自宅でも大学でも情報収集が簡単に

「SAINSポータル&情報処理センター」

「SAINSポータル」は、入学時に配布されるIDとパスワードがあれば使えます。パソコンやスマートフォンからさまざまな情報を入手できます。例えば、台風による臨時休講などの緊急のお知らせはもちろん、休講・補習や教室変更の情報、試験時間割や成績照会、また就職に関する案内や図書館の目録検索や貸出状況など、自宅にいながら大学の各種情報を確認することができます。

また情報処理センターには、自習で使えるパソコンが約500台(1号館5階、図書館)、貸出用のノートパソコンが約300台(1号館3階)もあり、e-Learningと呼ばれるインターネットとパソコンを組み合わせた学習システムも盛んに活用されています。

パソコン教室1~6(1号館5階)



上／SAINSポータル
下／情報処理センター



西南学院大生のおすすめポイント

ダウンス 啓太
ジャックさん
法学部
国際関係法
学科3年
(佐賀北
高等学校出身)

就職活動も情報力が勝負！

- 就職活動中は資料の枚数も多くなるので、プリントアウトなどは情報処理センターを利用すると便利です。
- 自宅ではノートパソコン、移動中はスマートフォンで情報が共有できるのでとても助かります。

「SAINSポータル」をまめにチェック

- 休講情報や気象による緊急のお知らせが自宅で見られてありがたいです。
- ボランティア募集情報なども「SAINSポータル」でまめにチェックをして興味がある事に挑戦してみましょう。

資格取得を応援する 学生割引の講座を主催

「資格取得支援講座」

エクステンション課では、各種資格取得支援講座を開講しています。ラインアップは「日商簿記」「宅建建物取引士」「プライdalプランナー」などさまざまで、就職活動につながるものもあります。それぞれガイダンスがあるので、興味が湧いたらまずは参加してみてください。将来の夢の入り口になるかもしれません。



エクステンション課
(西南コミュニティセンター内)
平日9:00~17:00

ささいなことでも 話せば解決の糸口に

「学生相談室」2号館3階

大学に入ると、高校までとはガラリと環境が変わったり、家族と離れて暮らすことで知らず知らず心に悩みや問題を抱えることも少なくありません。将来や進路のこと、友人・家族関係、気分の落ち込みなどを打ち明けられる場所が学生相談室です。電話で相談したり、直接来室して予約の上面接をするなど気軽にご利用ください。



学生相談室
平日10:00~17:30 TEL 092-823-3933

大学生活全般の お役立ちといえば“生協”

「西南学院大学生協同組合」

お部屋探しや自動車学校入校、生協食堂の年間利用定期券や学内講座、パソコンサポート、教科書の準備など、大学生活のさまざまなサポートしてくれる強い味方です。体育館横の学生食堂や購売も生活協同組合が運営しています。長期休暇中のプライベート旅行や部活での遠征にも使えるサポートもあります。



西南学院大学生協同組合
TEL 092-841-2400(代表)

第157回 芥川賞受賞作家

沼田 真佑

西南学院大学 学長

K・J・シャフナー



「学内では広く文学に親しみ、学外では多彩な出会いを通じて多様な価値観を学びました」と、大学時代の思い出を語る沼田さん。



『影裏』
沼田真佑／著
2017年 文藝春秋
1,080円(96頁)

会社の出向で移り住んだ岩手の地で、ただひとりの心を許した同僚との交流。自然豊かな岩手の木々や溪流を背景に、釣り、LGBT、東日本大震災など、さまざまな要素を散りばめながら、崩壊の予兆と人知れぬ思いを繊細に描き出す。

人と文学との関わりを深め、創作の土壌を培った大学時代。

出会いと体験の幅を広げ
多様な価値観に触れた日々

K・J・シャフナー学長（以下、学長）
この度は芥川賞受賞おめでとうございます。

沼田真佑（以下、沼田） ありがとうございます。ごまいます。母校を訪問するのは13年ぶりです。新しい建物が増えてキャンパスの印象は様変わりしましたが、地下鉄西新駅から大学へ向かう通りは昔のままで、学生時代を思い出します。

学長 教室とは別に、キャンパスの中で思い出深い場所がありますか？

沼田 図書館にはよく行きましたね。当時の図書館の確か3階か4階に文学書があり、セリヌの小説やランボーの詩など、欧米の文学を乱読していました。ただ図書館に行くのが何となく気恥ずかしく、いつも目立たないように隠れて通ったことを覚えていています。

学長 先ごろ竣工した新図書館は4階から7階までがサイレントゾーンになっています。そこなら誰にも邪魔されず、静かに本の世界に没頭できますよ。読書以外では、どんなことに力を注がれたのですか？

沼田 若いうちから出会いを広げて多様な価値観に触れたいという思いが強く、毎晩のように繁華街へ出かけては、ストリートミュージシャンや路上で絵を描く人、外国人労働者

なっているとしたら、うれしい限りです。受賞作『影裏』では、釣りや自然の鮮やかな描写が特に印象的でした。釣りは学生時代から？

沼田 はい、溪流釣りを少し。室見川の上流に山女魚が釣れるいい川があるんですよ。

学長 釣りも含め、福岡での体験が作品に影響を及ぼしている部分はありますか？

沼田 私は高校時代から詩を書き始め、大学では主に散文詩を書いていました。福岡の体験ということでは、より根源的な部分では寛容性を学んだことが大きいと思います。13歳の時、関東から引越した当初は人と人との距離感の近さに戸惑いましたが、慣れるにつれ、他者への寛容性が身に付いていたことに気付きました。この寛容性は先ほども話題に上った多様性に通じます。多様性は学問であれ芸術であれ、物事を見極めその本質に迫るための基盤となる要素で、今の私にとっても得がたい糧になっていると感じます。

新たな可能性に挑むためにも
まずは自らの健康に留意を

学長 今回の沼田さんの受賞は、本学卒業生として葉室麟さん、東山彰良さんの直木賞受賞に続く快挙です。これまでと同様に今回の受賞のニュースも、「自分にも何かできるのではないか」「何か始めよう」



ぬまた しんすけ
沼田 真佑

Profile
2002年商学部商学科卒業。北海道小樽市出身。大学卒業後、塾講師を経て2012年、約20年間を過ごした福岡から岩手県盛岡市に移り、本格的な執筆生活に入る。2017年、文壇界新人賞を受賞したデビュー作『影裏』で第157回芥川賞受賞。

など、学内で出会う機会が少ない人たちとの交流を深めました。私自身もギターを手に、行人のリュックエストに応えたこともありました。

学長 新たな出会いは自分が何者であるかということへの洞察を生み、多様性への深い理解につながります。留学生との交流にも同様の意義があると思いますが、本学で学ぶ留学生の数は年々増加していて、学内で出会いを広げるチャンスも着実に増えています。

福岡で育んだ他者への寛容性が
創作の土台に息づいている

学長 大学時代に受けた授業で特に

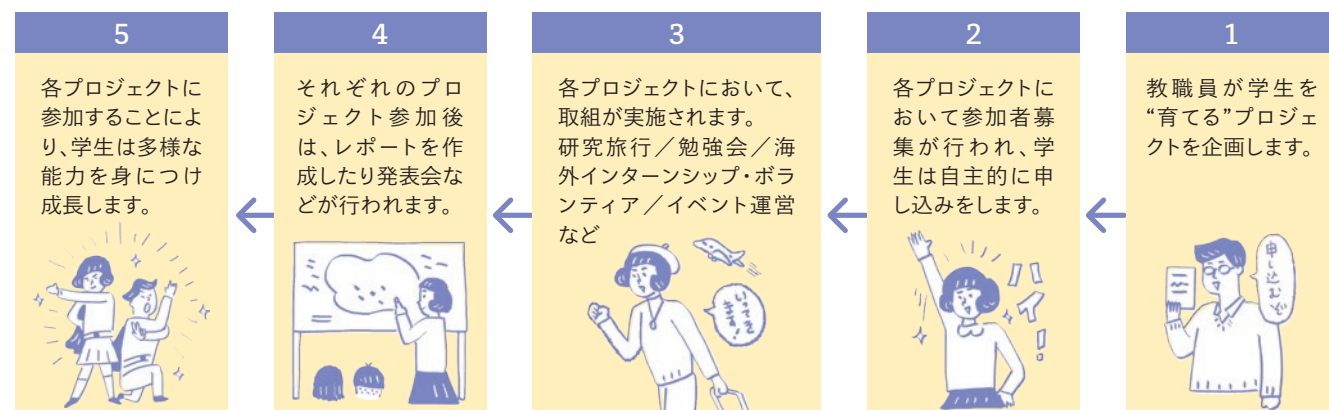
と、在学生の皆さんが自分の中に眠る未知の可能性に挑むきっかけになるのではないかと期待しています。

沼田 何をやるにしても、やりたいことに全力を尽くすための前提条件は健康であることです。これは一例ですが、男女を問わず、過度なダイエットに走る若い人が大勢います。これなどは自分の健康に自信がある証拠だと思いますが、いくら若くても本人が思った以上に体へのダメージは大きく、実際に健康を害した人を何人も見てきました。ぜひ健康に留意し、自分がやりたいと思うことに余力を持って挑んでほしいと思います。

学長 ありがとうございます。今後益々のご活躍を、教職員はもとより在学生、そして全国の卒業生とともに、お祈りいたします。



教育支援プログラムの流れ



ちょっとご紹介！

次号からの連載に先がけて、2つのプロジェクトをご紹介！

経済学部小出ゼミ中心
【教育IP】

「姪浜西南大学まち～域学連携による実践コミュニティの教育効果～」

経済学部小出ゼミを中心とする「姪浜西南大学まち」は、学生の社会力向上と地域の活性化を目的とする、交流拠点とネットを活用した実践教育プロジェクトです。学生と地域の人々が互いに違う視点や考え方を学び、年齢や地域を超えた絆で活動しています。学生は、イベントのアイデア出しで終わるのではなく、必ず実行するところまでやります。これまでも、姪浜商店街のコミュニティカフェの運営、ハロウィンイベントや新しい祭り等の企画・運営を行っています。学年・学部問わず多くの学生が参加しています。皆さんぜひ参加してみてください。

人間科学部心理学科
【教育A】

「WHO版PFA研修を軸とした災害ストレスと心のケア教育の展開」

災害が起きた時に必要な心のケアを学ぶために、WHO版サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）研修を開催しています。心理学科学生やボランティア活動に関心のある学生と職員が参加し、被災地シミュレーションやロールプレイ、ディスカッションを通して災害時の心のケアを実践的に学んでいます。昨年度の研修後は心理学科学生が主体となり、「体験学習のサイクル」理論に基づいたストレスとその対処法について90分のワークショップを行いました。学部学生だけでなく留学生や職員も参加して、積極的な意見交換が行われました。



参加した学生の声

法学部 インターナショナル・サービス・ラーニング (ISL) に参加

タイの山地民の教育と農業環境を支援するルンアルン暁の家に3週間のインターンシップに参加しました。畑仕事やプロジェクトの一環で育てているコーヒー豆の選別・焙煎等の仕事を現地のスタッフとともに行いました。当初不安もありましたが、それ以上に驚きと新鮮味あふれた毎日を過ごすことができました。帰国後はタイ北部の山岳少数民族についてレポートを書くことによって、自分の関心のある分野を掘り下げる良い機会になりました。



本学には充実した大学生活を送ることができるプロジェクトが用意されています。是非チャレンジしてみてください！

あらた まさこ
荒田 雅子さん
法学部
国際関係法学科2年
(西南学院高等学校出身)

学生の皆さんの
取組みを応援しています。

教育・研究推進機構長(副学長)
ちゅうま まさひろ
中馬 正博

今日の大学では、自ら主体的に課題を見出しその解決への道を模索する基礎力養成が求められるようになりました。各専門分野の教科書に示されている標準的知識を効率良く学んで卒業すれば良いというかつての常識は通用しなくなっています。しかし、この能力は教室での受動的学びだけで、一朝一夕に得られるものではありません。教育・研究推進機構は、教育支援プログラム(A)(B)を通じて、本学の熱意あるスタッフの提案に基づく時宜を得た様々な教育実践プロジェクトを支援しています。新入生の皆さん、浮き浮きした気分を少し落ち着かせて、参加すべきプロジェクトを探してみましょう。本学キャンパスの外の世界にも開かれ現場感覚に富むこれらのプロジェクトに参加すれば、大きく視野が広がり、部活やサークル、アルバイトなどとは一味違うとても有意義な体験を積めることでしょう。

先生と学生が自主的に取組む

西南学院大学ならではの
実践・支援プログラム！

本学には、教育に関する特色あるプロジェクトを支援するための制度があります。

この制度は、学部(学科・専攻)でのプロジェクトを支援するプログラム(A)と、小単位(ゼミ等)でのプロジェクトを支援するプログラム(B)の2つの枠組みで構成されています。いずれも、先生方がアイデアを出し合い、プロジェクトを構築し、学生に「学びのフィールド」を提供しています。

今回、本支援プログラムの全体像をご案内した上で、次回から定期的にプログラム(A)の各プロジェクトをご紹介します。

西南学院大学における特色ある教育支援の歩み

教育支援プログラム
(A)(B)
2017年度スタート

学内GP、教育IPの知見を活かし、新たに設置されました。「(A)学部単位」、「(B)ゼミ等の小単位」に分けることにより、各学部、各教員の特色を活かした、多種多様なプロジェクトが展開されています。

教育IP
(インキュベートプログラム)
2012年度後期～2016年度

学内GPに代わり、ゼミや事務局単位、短期間のプロジェクトの応募を可能にし、募集終了の2016年度までに36件のプロジェクトが採択されました。2018年度で全てが終了します。

学内GP
(グッドプラクティス)
2006年度～2012年度

取組は学部単位で支援期間は最大6年。大きなプロジェクトが実施されました。募集終了の2012年度までに20件のプロジェクトが採択され、2017年度で全てのプロジェクトが終了しました。

2018年度プロジェクト(全16件)

1	神学部	異文化に触れ、宗教と平和について学ぶ研修プロジェクト
2	文学部英文学科	G・B・ショー作「ピグマリオン」の公演と学術イベントの開催
3	文学部外国語学科英語専攻	英語コミュニケーション研修
4	文学部外国語学科フランス語専攻	p.Communiqons, ペ・コミュニケーション
5	商学部	短期語学研修(韓国)プログラム
6	商学部	海外インターンシップ
7	商学部	都市観光資源・産業観光資源の臨検に基づく観光振興策の考察
8	経済学部	経済学部「学部1年生のための基礎学力向上プログラム」
9	経済学部	国際ボランティア経験を通じたキャリア開発プログラム
10	法学部	進路を見えた学修支援体制の構築 ①学修支援型SA・TA ②「ことばの力」養成講座 ③インターナショナル・サービス・ラーニング(ISL) ④オンライン英会話 等
11	人間科学部	人間科学部-取組Aー地域連携型学習プログラムの開発・導入の推進 ①西南オラトリオ・アカデミー ②チルドレンズ・ミュージアム ③九州学生心理学会
12	人間科学部	人間科学部-取組Bー国際貢献(交流)型学習プログラムの開発・導入の推進 ①カンボジア運動会 ②ベルリン芸術教育交流 ③東アジア保育・教育交流 ④社会福祉海外実習
13	人間科学部心理学科	WHO版PFA研修を軸とした災害ストレスと心のケア教育の展開
14	国際文化学部	戦争をフィールドワークする(その2)ーアジア太平洋戦争が残したものを通して「平和」について考えるー
15	【教育IP】経済学部小出ゼミ中心	姪浜西南大学まち～域学連携による実践コミュニティの教育効果～
16	【教育IP】法学部	高年次教育における論理的思考力育成ー「出口」を見据えたアウトプット型教育の試み

2018年度で全ての学内GP・教育IPが終了することに伴い、制度とこれまでのプロジェクトを紹介するリーフレットを作成しました！



今回は、経済社会と商取引の構造を体系的に学ぶ商学部商学科から西田顕生教授の「演習Ⅰ」と、実践的な福祉人材、及び社会に貢献しうる人間の育成を目指す人間科学部社会福祉学科から平直子准教授の「専門演習Ⅱ」を紹介します。

学科フォーカス

No.
33

商学部
商学科

演習Ⅰ
ってどんなゼミ？

金融・証券市場の研究を通じて
社会の変化を読み解く力を養い、
主体的に学ぶ姿勢を磨く。



グループでの輪読や発表で
金融論の基礎を理解する。

近年、年金制度の多様化に代表されるように、わが国の「お金と将来」をめぐる情勢は大きく変化しています。2年次後期に始まるこのゼミでの目標は、金融機関の種別や役割、金融政策、為替や株の基本理論など、金融・証券市場の問題を考える上で基礎となる知識を体系的に学ぶことです。

そのため、金融・証券に関する論点を概説した基本書をテキストとし、ゼミでは毎回テキストの章立てに沿って担当グループが発表を行います。発表後のディスカッションでは、「銀行の最低資本金の額は？」など、学生の関心を喚起しやすい質問を通して、議論の活性化を促しています。

3大学合同イベントで
学術的な議論を深め、
個々の研究テーマを模索。

ゼミ独自の取り組みとして、九州産業大学、久留米大学と共同で開催する「3大学合同イベント」が挙げられます。今年度は3つのグループに分かれ、「化粧品業界大手A社とB社、将来の投資価値が高まるのはどちら？」「2018年時点での日経平均株価の水準は？」といったテーマに沿って議論を戦わせました。立論内容はまだまだ粗削りですが、準備段階でのサポートはあえて行いませんでした。さらなる



にしだ 顕生 教授
大阪市立大学大学院経営学
研究科博士課程後期満期退学。
博士(商学)。専門は財政学および金融論。研究領域は金融の地域構造、日本の金融システム。近年は九州を中心に地域金融システムに関する研究を進めている。

演習での学びを通じて
社会を知る感性を磨き、
自立した社会人に。

金融・証券市場の問題は社会の動きと密接に関わっているため、演習での学びを進めるうちに、世の中の変化を肌で感じ取る感性が自然と磨かれます。学生は演習Ⅰでの学びを経て3年次以降のより深い考察や研究に臨み、4年次での研究テーマにつなげます。また3年次以降、より踏み込んだテーマで行うイベントや卒業論文制作を通じて、文献の調べ方やまとめ方、時事問題を俯瞰的に理解するセンス、自分の主張をわかりやすく伝える力など、多様なスキルが磨かれます。この力は、就職活動や社会に出てからの実務でも大いに役立ち、自立した社会人として活躍する土台となつて、未来を支えてくれるでしょう。

人間科学部
社会福祉
学科

専門演習Ⅱ
ってどんなゼミ？

文献調査や体験学習を重ねて
精神保健福祉のあるべき形を探り、
真摯に課題に取り組む姿勢を育む。



卒業論文やゼミ論文の作成に際しては、論旨に矛盾や過不足はないかなど、何度も細かくチェック。こうして仕上げた論文を、3年次生と4年次生が揃って参加する論文発表会で報告します。

誰もが
その人らしく生きられる
社会のあり方を考える。

日本は世界で最も人口に対する精神科病床数が多く、特に九州は突出しています。しかし、これは、精神疾患にかかる人が多いからではありません。日本の精神科医療の仕組みなどの社会的要因のために、地域生活で暮らす人が、隔離され、長期入院を余儀なくされているからです。また、精神障害に対する偏見や差別は根強く、地域で十分な支援が行われているとは言い難い現状があります。

ゼミでは、こうした地域が抱えている現状と課題を理解した上で、どうすれば当事者や家族がその人らしく生きていけるのか、どのように彼らの体験に基づいた力を精神保健福祉において生かしていけるのかなどを考え、よりよい支援のあり方、社会のあり方を探ります。

学外での研修会や
ボランティア活動に参加し、
経験値を高める。

ゼミでは、前期は主に各自が選んだテーマについて調べたことを発表し、後期では卒業論文やゼミ論文の作成に取り組めます。この過程で文献の調べ方やまとめ方、意見や主張を分かりやすく伝える力、書く力を身に付けます。各自の調査や研究と並行して、各種研修会への参加、当事者が働く事業所への訪問などを行い、精神保健福祉の



ひらい 直子 准教授
1997年、ダンディー大学(イギリス)大学院ソーシャルワーク学修了(修士)。2007年、リーズ大学(イギリス)大学院社会学・社会政策学部修了(障害学修士)。研究テーマは、精神障害者の地域生活支援、リハビリなど。

その人のもつ力に焦点を当て、
未来への豊かな可能性を
信じられる人に。

障害の有無にかかわらず大切なことは、できないことに焦点を当てるのではなく、その人の力をいかに生かすのかという視点です。この視点が社会全体に広がり、社会が変われば、企業や地域社会も含めて、今よりもっと生きやすい社会になるのでは、と思います。学生には、ゼミでの学びやさまざまな体験を通じて、こうした視点を着実に身に付けてほしいと思います。そして、福祉の現場に限らず社会のあらゆる場面で、困難な状況に置かれている人に心を寄せ、思いに耳を傾け、その人の可能性を信じて、できることがあれば進んで行える人になつてほしいと思います。

Talk

トークアバウト

About

vol.33

私たちの意見!

あるテーマについて
学生と先生がテーブルを囲む。
世代や立場の違い
トークディスカッションに
「新しい発見」がある。

大学時代の親友たちと
家族ぐるみの交流を続けています



文学部外国語学科英語専攻
きよみや とおる
清宮 徹教授

委員会、ボランティア
積極的に出会いを広げています



文学部英文学科3年
とむら
戸村 りなさん
(香椎高等学校出身)

碧波寮の寮長として、友人として
43人の寮生たちと触れ合っています



法学部法律学科3年
かつき しんたろう
勝木 進太郎さん
(宮崎大宮高等学校出身)

今回のテーマ 「友人関係」

心の扉を開いて向き合えば、
相手も心を開いてくれる。

清宮 大学時代は学内外でさまざまな友人関係を築く時期です。新しい出会いへの期待に胸をふくらませている新入生も多いことでしょう。お二人は入学後、どのような形で出会いを広げてきたのですか？

勝木 私は入学時から寮に住んでいますので、寮生を中心に友人関係を広げています。履修のアドバイザーなど、入寮当初に先輩から声を掛けていただいたおかげで、すんなり寮生活に溶け込めました。授業を通じて知り合った友人は同じ法学部生が多いのですが、寮では学部学科の枠を超えて多くの友人ができました。

戸村 私は入学後しばらくの間、高校生活とのギャップに戸惑いました。友人の作り方もわからず、悩みましたが、行動を起こさなければ何も変わらないと思い、学内の委員会やボランティア活動に積極

悩みを打ち明け合い、
心から笑いあえる友人が、
大学生活を楽しくしてくれます。



的に参加しました。こうした活動から自然と出会いが広がり、気が付けば、入学当初の悩みはきれいに消えていました。
清宮 友人関係の第一歩を踏み出すコツは、まず自分から心の扉を開き、勇気を持って話しかけてみることです。勝木さんも戸村さんも、まず自分からアクションを

心の扉を開いて出会いを重ね、

豊かな友人関係を広げよう。

親しき仲にも礼儀あり。
相手を思いやる心が、
深い信頼関係につながります。



意地を張らず、こちらから謝ります。

戸村 私も相手の気持ちを慮って、時にはそっとしておいてあげる思いやりの気持ちを忘れないよう、心掛けています。

勝木 以前、困った時に友人に助けられた経験があるので、友人だから当たり前と考えず、しっかりと感謝の念を持つことが大事だと思っています。親しき仲にも礼儀ありの精神ですね。

**SNSは関係性を結び、
支えるツールとして
上手に活用すべき。**

清宮 SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) は友人関係を築く上でも欠かせないツールとなつていますが、長所、短所の両面が議論されています。お二人はどのように活用されていますか？
戸村 話したことのない人でも声を掛けやすく、周囲でも重宝している人が目立



勇気を持って話しかけ、
真摯な態度で聞く姿勢があれば、
友人関係が大きく広がります。

SNSはあくまで関係性をサポートするツールとして活用すべきだと思います。
**友人関係は奥が深い。
近い親友、遠い友人、
どちらも大切。**
清宮 大学時代の友人は生涯の財産です。もちろん社会人にも出会いがあり、友人関係も広がりますが、本音で語り合い、時には一緒に羽目を外した仲間は、やはり特別です。現役学生のお二人は、大学時代の友人関係の意義をどう捉えていますか？
勝木 多様な価値観に触れる意義は大きいと思います。私は寮長を任されているのですが、このところ点呼を存続するかどうかについて寮生全員と議論を重ねています。部活の早朝練習や早く寝て朝に勉強したいから点呼は撤廃すべきという人もいれば、規律あつてこそ寮ではないかという意見もあります。自分とは異なる考え

を持った友人との交流を通じて、自分自身の視野の広がりを感じます。
戸村 私も、友人が増えるにつれて体験の幅が広がっています。学内で留学生と友人になったことを契機に、留学生を自宅に招くホームビジットにも参加しました。アルバイト先では他大学の学生から理系学部の方々に新鮮な刺激を受けています。そうした友人を含めて、心から笑いあえる友人がたくさんできました。
清宮 考えれば考えるほど、友人関係とは奥が深いものです。互いの結婚式に列席し、家族ぐるみの付き合いが続く親友はもちろん大切ですが、人生のほんの二期だけの知人が、後に再会して大切な存在になることもあります。会わずとも長年、年賀状のやり取りを続けられる友人も大事です。そうした、遠い友人の厚みもまた、人生を豊かにしてくれる要素です。ぜひ出会いを大切に、分厚い友人関係を築いてほしいと思います。



組織や時代は変わるもの。 当たり前なんてない 時代でも、 自分自身を信じて 常に道を切り拓いてほしい。

福岡地所株式会社にて、キャナルシティ博多の副支配人として活躍する望月未和さん。大学4年次にオープンしたキャナルシティ博多を見て、商業施設の世界に魅了されて就職をしたそうです。販促・広報等を経て、現在の役職に。学生時代の経験から生かされていることや現在の仕事で大切に思うことについて語っていただきました。



福岡地所株式会社
キャナルシティ博多事業部 副支配人

もちつき みわ
望月 未和さん

【座右の銘】

「泥中の蓮」

どのような環境の中でも、清く正しく生き、美しい花を咲かせることの大切さを説く言葉です。生きていれば良いことも悪いこともあります。一見ネガティブに見えることから何かを学び、生み出していけるかどうかは自分次第だと思います。常にポジティブとはいきませんが、壁にぶつかってもその反省を糧にしていけるといいですね。

1997年法学部法律学科卒業
福岡県立筑紫丘高等学校出身。大学卒業後、福岡地所株式会社に入社し、キャナルシティ博多の運営に携わる。2001年に東京のIT企業に転職し、約3年間最新のIT戦略等に触れる。その後、福岡へ戻り、再びエフ・ジェイ都市開発株式会社(現・福岡地所株式会社)に入社。商業施設の販促・広報担当や社長室を経て、現職に。



きました。多少焦りを感じている頃に、心に響いたのがG・W・バークレー先生によるキリスト教の授業でした。先生の授業は「愛とは何か」「信仰とは何か」と考えさせられる授業で、思い返せば毎回心が動かされ、涙を流していたように思います。

き上がるものを感じました。早速、施設内のテナントでアルバイトを始め、その縁もあって、翌年、福岡地所株式会社に入社が決まりました。入社直後は、総務人事部、1年目の途中からキャナルの広告や販売促進を担当しました。当時はインターネットが普及し始めた頃で、新しい媒体をどう活

は休日が取れないほど多忙で、長くは続けられないと感じました。次に転職となったのは、六本木ヒルズのオープンです。キャナルシティ博多と同じ建築家が手掛けたのに、東京だからなのか、日本初の事例であるかのように多くのメディアに取り上げられ、注目を集めました。これをきっかけに「福岡(地方)」からも強い発信力



ば成長もありません。常にポジティブでいるのは難しいですが、トラブルがあったとしても次への糧にしていければいいのではないのでしょうか。自分のやりたいことを大切に、道を拓いていく、それを繰り返すことで人は自立できるのだと思います。皆さんもしっかり自分と向き合って、歩むべき道を見つけてください。

自分と向き合う時間を大切にしたい4年間

大学時代を一言で言えば、自分探しをしていた4年間でした。高校までのようなクラスや席という枠が外れ、自由になったことに戸惑っていたのかもしれませんが、やりたいことも見つからず、時間が過ぎ

内から湧き上がる思いに押されて今の会社へ

4年次の春、相変わらず具体的な目標はないものの就職活動を始めました。ちょうどその頃にキャナルシティ博多が開業したのです。まるで城のような壮大なデザインに衝撃を受け、初めて「ここで働きたい」と湧

用すべきか、誰もが模索しているような時代でした。業務を通して「ITやWebをもっと学びたい」と思い、2001年に東京のIT企業に転職をしました。ここでは大手企業のWeb戦略に関わったり、当時、最先端であった動画配信サービスの仕事に携わるなど、刺激を受ける毎日でした。しかし、仕事

をもちたい」という競争心が芽生えたのです。故郷を出たことで地元への帰属意識が育ったのか、再び古巣へ戻ることにしました。

良いことも悪いこともある
どう捉えるかが大事

戻ってからは、さまざまな商業施設で前例のないイベントを催したり、挑戦的な広報戦略に

打って出たり、よりダイナミックな仕事ができるようになりました。変わりゆく時代の中で、自分たちの施設の存在感を示すためにできることは何だろうかと必死に考え続けました。できることから数多く当たってみる中で自分自身が磨かれていくのを実感しました。失敗したり、転ぶことは怖いことです。しかし、挑戦しなければ

教養 たね

西南学院大学の教授が日々研究している専門分野を私たちの「暮らし」に触れて紹介。教授の研究内容をより身近なものにしてみよう。



文学部英文学科
かねこ ゆきお
金子 幸男 教授

京都大学大学院文学研究科修士課程修了。専門は、英国ヴィクトリア朝、エドワード朝文学・文化。主たる論文として、「ハーディとワイルド―田舎、都会、イングリッシュネス」(『オスカー・ワイルド研究』16号、2017年)、翻訳として、ピーター・ゲイ著『小説から歴史へ―ディケンズ、フロベール、トーマス・マン』(岩波書店、2004年)。

「EU離脱、 田園小説・絵画と 『イギリスらしさ』」

「イギリスらしさ」ということで、何を連想されるでしょうか。イギリス王室、ユニオン・ジャック、貴族、紅茶、田園風景、カントリーハウス(田舎のお屋敷)とコテージ、ガーデニング、『ハリー・ポッター』、ストーンヘンジ、サッカーやクリケットなど。

さて、そのイギリスは今、激動の時代にあります。EU離脱が2016年の国民投票で決まり、離脱に向けた難しい交渉をEUと行っています。この離脱の問題は、「イギリスらしさ」(Englishness)にも関係し、後者は「英国国民意識」、「英国のアイデンティティ」とも言い換えることができます。国家の三要素は、主権、領域(領土・領海・領空)、国民ですが、自由を尊ぶ英国の自己決定権(主権)はEUにより制限される場合があり、国民という観点からは

EU内移動の自由により移民が急増し、白人労働者が仕事をしづらい状況が生まれているのではとされています。

讃美歌「エルサレム」の中で、“Green and Pleasant Land”と歌われるイングランドの田舎を理解すれば、イギリスという国が分かります。特に、カントリーハウスやコテージは国民意識の中に深く染み込んでいます。



教授
おすすめの本

『仏教、本当の教え インド、中国、日本の理解と誤解』

植木雅俊 著(中公新書)

インドから中国、日本へと仏教が受容された過程で生じた誤解から、「インドらしさ」、「中国らしさ」、「日本らしさ」が見えてきます。釈迦が頭を北に向け亡くなったことから「北枕」を忌避したのは日本人の誤解で、北に理想の国があるインドでは「北枕」は当然の生活習慣だったのです。本年4月のNHK『100分で名著』に登場する著者の他著も読む価値があります。



先輩のお仕事白書

先輩の仕事内容や就職エピソードから見つける就活のヒント。

手に取りやすく、暮らしに寄り添うことを大切に 手掛けたパッケージが世に出る喜びを感じて。

今回の先輩は **鐘江 勇介さん**

凸版印刷株式会社 九州事業部 第一営業本部

2017年 商学部商学科卒業

Profile 筑紫中央高等学校出身。在学中2年次から始まったゼミでは、金融業界について学びを深めたが、就職活動を進める中で印刷会社に興味を持ち、凸版印刷株式会社に入社。現在は、営業担当としてパッケージ等の印刷を担当している。



学生時代はゼミに注力し 商業・経済について考察

大学時代にいちばん力を注いでいたのは、2年次から始まったゼミでした。テーマは、金融業界や銀行について、金融の仕組みや世の中のお金の流れを知ることができました。在学中にメディアをにぎわしていた「アベノミクス」についても、先生や仲間たちと議論を重ね、日本経済や金融業界のことを考える機会に恵まれました。

自分の手掛けたパッケージが 世に出て思わず感動

就職活動は、大学で行われる春季集中企業セミナーや学内合同企業セミナーなどに参加し、さまざまな業界や職種について知るところか

ら始めました。最初は銀行を中心に考えていましたが、学内での説明会がきっかけで今の会社を知りました。自分が企画段階から関わった仕事が世に出る喜びに魅力を感じ、印刷会社やメーカーの入社試験を受けることにしました。最終的に、地元の大手銀行やメーカー、印刷会社など4社から内定をいただき、就職活動を終えました。

入社後は、主に商品パッケージの印刷を受注する部署に配属になりました。最初は先輩について仕事を学び、秋から食品メーカーの担当をしています。営業として、お客様の要望を伺い、制作部門と制作工程などを調整するのですが、両者の都合や状況を見ながらスケジュールを管理していくのが大変です。また、食品や飲料のパッケージは中に入る素材や温度によって、耐熱や耐水など包材の専門知識も必要です。先輩方や印刷工場の職人の方々の助言をもとに、勉強を重ねているところです。1年目でもしっかり任せてもらえる環境に身が引き締まる思いがしています。昨年末、初めて手掛けた案件のパッケージが完成し、世の中に商品として出た時には思わず感動してしまいました。

実際に働く人の声が 何よりの情報源

就職活動では、選択肢を広げるために幅広い業界に目を向けました。意識したのは、どの面接でも必ず面接官に笑ってもらうことです。しかも、事前に考えていった話題ではなく、できるだけその場の会話から面白い返しをしようと工夫しました。そう意識することで、相手の言葉にしっかり耳を傾ける習慣が付き、それは今の仕事にも生かされています。今思えば、この心掛けのおかげで面接でも緊張せずにいられたのかもしれない。

また、複数の内定をいただき最終的にどの道に進むか迷った時には、実際に働いている人の声がいちばんのヒントになると思い、じっくり話を伺いました。説明会やパンフレットではその企業の良い面が強調されています。パンフレットの情報も大事ですが、実際に働く場面をイメージし、その仕事のやりがいや困難な点も理解しておくが良いと思います。西南学院大学のOB・OGはさまざまな業界で活躍しているので、そうした先輩方を頼っていくのも良いのではないのでしょうか。



常に全力

昔から憧れている俳優がドラマの中で言ったセリフの影響で、いつも心に掲げている言葉です。私が全力投球できた経験といえばやはり就職活動です。自分の将来を左右するターニングポイントになるため、努力を惜しみませんでした。そのおかげで目標を達成できたので、皆さんも悔いのないよう全力で取り組んでください。



INFO! キャリアセンター就職課

就職課から学生の皆さんの就職活動に関する情報をお届けします。



特別 座談会

内定者の皆さんに聞きました。 就職活動でやっておくべきことは?

内定者の皆さんに、就職活動の取り組み方や内定までの道のり、就職活動で知っておくべきポイントについて聞きました。

視野を広げて 自分の進むべき道を見つけよう

(西) 3年次の6月から半年間、学内の「マスコミ受験対策講座」に参加しました。有料の講座でしたが、志望業界が決まっていなかった私は、講座を受講したことで「この道は違う」ということに気付くことができました。以降、学内外問わず、説明会やインターンシップに積極的に参加しました。私は「行動力がない」と自覚していたのでとにかく予定を詰め込んで動くことで自分に合う業界や企業が徐々に見えてきて、内定につながったのだと思います。

(古賀) 私は3年次の夏まで留学していたので、秋にインターンシップに応募し、冬に3社に参加しました。採用試験は製造業界、航空業界、金融業界などを幅広く受けましたが、ファイナンシャルプランナーの資格を取った際に興味を持った信託銀行を第一志望とし、無事内定をいただくことができました。

(酒匂) 水泳部の活動に力を注いでいたため、就職活動は年明けから始めました。最初は業種を問わず、多くの説明会に行き、インターンシップにも参加しました。

志望が固まったのは学内企業説明会がきっかけでした。内定した企業の現場で働く方々の生の声を聞き、幼少の頃、電車の乗務員になりたいと思っていたことを思い出したのです。

(黒田) 私も3年次の1月から開始しました。まず学内説明会に参加し、春に向けてエントリーの準備を整えました。私の場合、面接が一番多い6月に教育実習があり、受けられない企業も多く、その点で苦労しました。内定をいただいた全日本空輸も7月採用で受け、内定をいただきました。

西南学院大生のための サポートは存分に活用しよう

(酒匂) 就職課が主催する企業説明会だけでも業種の幅が広く、数も多いのでどんな仕事があるかを把握する第一歩になりました。興味がある業界や企業の人事の方にはしつこく質問をして、答えていただくことで漠然とした考えが明確になっていくのを実感しました。悩んだり、迷ったり、落ち込んだ時も大学のOBでもある就職課の方々にたくさん聞いていただき、頼もしかったです。

(黒田) 大学主催の就職セミナーやエアライン受験対策講座の体験を何度か受けました。エアライン企業の説明会にも参加し、直接人事の方からお話を伺うことで深い部分まで情報収集をすることが

できました。エアラインを受けることにに対して少し不安な気持ちはありましたが、卒業生が多いので、キャリアセンターには試験対策の資料が充実して

いて助けられました。(西) 業界ごとの対策講座は自分に向いているかどうかを判断する材料にもなります。また4年次の内定者の先輩方のご意見やアドバイスをかなり参考になりました。3年次の3月に参加したグループディスカッションの講座も、一人では勉強しにくいものなのでありがたかったです。

(古賀) 私も業界対策講座や企業説明会が学内で行われるのは移動時間を気にせず、効率よく数を重ねられるので良かったです。早い段階からさまざまな情報を届けてくれるので刺激にもなりました。複数内定をいただき、どちらに進もうか迷っている時に社会人の先輩としての視点で先を見たアドバイスをいただけたことも感謝しています。

夢に向かう道の途中で 大きく成長できるかけがえのない期間

(酒匂) 就職活動を通じて一番成長した点は、コミュニケーション能力です。面接などで関東・関西へ行くたびに同じ業界を目指す仲間と知り合い、情報交換をし、多くの刺激をもらいました。皆さんも会場でどんどん周囲に話し掛けてみると新しい考えに触れられますよ。

(古賀) 心身ともにタフになりました。就職活動はお金も必要だろうとアルバイトも続けていたのですが睡眠時間は削られました。しかし、その分、落ち込む暇がなく、とにかく前に進むことができました。大変なこともあります。挑戦することで貴重な出会いや思わぬ成長など、得るものも多かったです。悔いのないよう駆け抜けてください。

(黒田) 教職課程との両立ができるか、スクールや講座に通わなくてもいいか、目の前にいるライバルに負けているのではないかなど、就職活動はとにかく不安との戦いでした。しかし、必ず自分にしかない長所はあり、努力すれば可能性は開けます。自分を信じ、周りの支えに感謝しながら、進んでください。

(西) 私も自信がなくて不安でした。でも仲間の支えを感じて、「一人じゃないんだ」と心強い瞬間もあり、一歩踏み出す勇気を持つことができました。今、就職課でチューデントアドバイザーを務めています。何をしてもいいかわからないという人にも丁寧にアドバイスをして今度は後輩の力になりたいと思います。何でも聞いてください。



内定 三井住友信託銀行株式会社

古賀 菜摘さん
国際文化学部
国際文化学科4年
(長崎東高等学校出身)

内定 東日本旅客鉄道株式会社

酒匂 昌也さん
法学部法律学科4年
(糸島高等学校出身)

内定 全日本空輸株式会社

黒田 奈那さん
文学部英文学科4年
(玉名高等学校出身)

内定 富士通株式会社

西 宏平さん
経済学部経済学科4年
(西南学院高等学校出身)

SEINAN News & Topics

西南学院大学に関するさまざまな情報をお届けします。

新規交流協定校(アメリカ1大学・フランス2大学・ベルギー1大学・スペイン1大学)のご案内

本学では海外の大学と国際交流協定を締結し、半年間または1年間の学生交換を実施していますが、この度、新たに以下の5大学が協定校になりましたのでお知らせします。これにより、本学の国際交流協定校は、26カ国89大学(このうち学生交換を実施する協定校は23カ国78大学)となりました。

■ノースアラバマ大学 (University of North Alabama) (アメリカ) <https://www.una.edu/>

ノースアラバマ大学は、米国アラバマ州北部のフローレンス市に位置する州立大学である。学生数は約7,500人。アラバマ最初の州立大学として1830年に創立された総合大学で、質の高い教育を行う大学として評価が高い。学生と教授の比率は20:1で、学生は教授陣からきめ細かい指導を受けることができる。

大学が位置するフローレンス市は、アラバマ州北西部における経済、交通、教育、文化の中心地で、人口は約40,000人。全米で最も治安の良い都市の1つにあげられており、1880年～1920年代に建てられた歴史ある建物が集まる市中心部のフローレンス歴史地区は、1995年に国家歴史登録財に指定されている。

●派遣言語: 英語 ●派遣開始時期: 2018-2019年度(2018年8月出発)

■アンジェ・カトリック大学 (Université Catholique de l'Ouest) (フランス) <https://www.uco.fr/>

アンジェ・カトリック大学は、フランスのペイ・ド・ラ・ロアル地方に位置する私立大学である(1875年創立)。学生数は約7,000人。教育学部、人文学部、科学部、人文社会学部、神学及び宗教科学部、法律・経済・経営学部などの6学部において、100種以上の教育プログラムを提供している。人文学部に1947年に併設されたCIDEF (Centre International d' Etudes Françaises) では、毎年、約60カ国からの留学生約1,200人がフランス語を学んでいる。世界各地に156校の交流協定校を持ち、外国語としてのフランス語教育における伝統と実績が高い評価を受けている。

大学が位置するアンジェ市は、パリから西へTGVで約1時間半の距離にもかかわらず、中世の落ち着いた佇まいが残る地方都市である。市の人口は約16万人と中規模ながら、劇場や美術館、美しい公園等が散在する、緑豊かな文化・芸術の街として知られている。

●派遣言語: フランス語 ●派遣開始時期: 2018-2019年度(2018年9月出発)

■フランシュ・コンテ大学 (Université de Franche-Comté) (フランス) <http://www.univ-fcomte.fr/>

フランシュ・コンテ大学は、ブザンソン市に位置する国立大学である(1423年起源)。周辺に5キャンパスを持ち、グランゼコールを含む、医学、薬学、科学技術、教育、言語学など41分野の教育・研究を行っており、学生数は約23,000人。言語教育における世界ランキングで毎年トップクラスに位置付けられており、CLA (Centre de Linguistique Appliquée) では年間4,000～6,000人の学生がフランス語を学んでいる。

大学が位置するブザンソン市は、フランス東部の人口約10万人の中核都市である。パリからTGVで南東に約2時間の位置にあり、ブザンソンからスイス、チューリッヒまでは約1時間である。伝統的に精密機器や高級時計製造におけるフランスの中心地として繁栄したが、現在ではナノ・テクノロジーなど先端技術産業の集積が進んでいることでも知られる。

●派遣言語: フランス語 ●派遣開始時期: 2018-2019年度(2018年9月出発)

■ブリュッセル自由大学 (Université Libre de Bruxelles) (ベルギー) <https://www.ulb.be>

ブリュッセル自由大学は、1834年にベルギーの首都として発展するブリュッセルに創設された私立大学である。人文社会科学系、医学系、科学技術系の3分野13学部からなっており、学生数は約27,000人。1913年から現在まで5名のノーベル賞受賞者を輩出し、医学、化学、物理学などの分野において世界最高水準の研究レベルを誇っている。また、全在学生の3分の1にあたる約9,000人を留学生が占める国際色豊かな大学である。

ベルギーの首都ブリュッセル市内に3つのキャンパスを有し、メインキャンパスは南東部イクセル地区にある。キャンパス周辺は各国大使公邸や公館などが並び閑静な地区であり、近くには広大なカンブルの森公園が広がる。

●派遣言語: フランス語 ●派遣開始時期: 2018-2019年度(2018年9月出発)

■サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学 (University of Santiago de Compostela) (スペイン) <http://www.usc.es/>

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学は、1495年に創立されたヨーロッパ圏内でも長い歴史と伝統を誇る名門大学である。ルゴとサンティアゴ・デ・コンポステーラの2カ所にキャンパスがある。14学部を擁する総合大学で学生数は約42,000人。そのうち留学生は約3,000人と国際色豊かな大学である。

イベリア半島北西端のガリシア州に位置するサンティアゴ・デ・コンポステーラは、ローマ、エルサレムと並びキリスト教3大聖地のひとつである。大聖堂のある旧市街は1985年に世界遺産となり、ヨーロッパ各地から大聖堂に続く巡礼路と建造物は1993年に世界遺産に指定され、世界各地からの巡礼者が訪れている。旧市街にキャンパスが点在しており、キャンパスに居ながらにしてヨーロッパの歴史が感じられる。

●派遣言語: スペイン語 ●派遣開始時期: 2018-2019年度(2018年9月出発)



詳細は各大学のホームページおよび国際センター事務室の資料をご参照ください。

なお、海外派遣留学生制度については国際交流のホームページを参照してください。 <http://www.seinan-gu.ac.jp/international/>

【お問い合わせ】 国際センター事務室 TEL: 092-823-3346

読売新聞読書教養講座を開催
～土井善晴さん、沼田真佑さんが講演～

2017年6月24日、料理研究家の土井善晴さんを講師に迎え、読書教養講座を開催しました。土井さんは、「一汁一菜 日本人の美学」というテーマで講演され、会場となったチャペルには多くの観客が来場しました。講演後は、学生とのトークセッションを行い、活発な意見交換が行われました。講演では、健康的な食生活が暮らしの伝統行事とともにあり、しかも四季の移ろいを楽しむことができる日本の家庭料理の素晴らしさに触れ、その出発点となるのは一汁一菜であると説きました。一汁一菜でもってごく当たり前の調理を丁寧にすることが何よりも暮らしを豊かにすることだと教えてくれました。

さらに、11月14日、本学卒業生で芥川賞作家の沼田真佑さんと英文学者の阿部公彦さんを迎え「小説を書く理由、創作の源」をテー



土井さんを囲んでのトークセッション 写真提供: 読売新聞社

マに、法学部の田村元彦准教授を交えて対談を行いました。阿部さんからの「小説を書くことは、敗者の弁的ところがある?」との質問に「そうなんです」と答え、無職の間、小説を書くことにのめり込んだことを明かしてくださいました。さらに、在学中、聖書を読みふけたことに触れ、「仏教とは違った慈しみが、キリスト教にあることを知り、影響を受けた」と振り返りました。また、20年間に住していた福岡について、「福岡は寛容と言うか、寛容は多様性につながる。多様性は何かを創る土壌になるのではないか」と語ってくれました。

読書教養講座は、読売新聞社活字文化推進会議主催の講座で、今回で13年目の開催となりました。講演を聴きながらメモを取る参加者の姿も見受けられ、聴衆の読書に対する意識の高さがうかがえました。



沼田さんを囲んでのトークセッション

本学卒業生の直木賞作家と芥川賞作家の二人が
東京で対談 ～東山彰良さん × 沼田真佑さん～

2017年12月8日、東京・京橋の東京コンベンションホールにて、本学卒業生で直木賞作家の東山彰良さん(西南学院高等学校卒業・西南学院大学経済学部卒業・大学院経済学研究科修了)と2017年に芥川賞を受賞した作家の沼田真佑さん(商学部卒業)を講師に迎え、創作や大学の思い出について語るトークライブ「言の葉を紡いで」(西南学院大・朝日新聞社共催)を開催しました。同じく本学出身のテレビ東京アナウンサー片渕茜さんの司会進行のもと、破壊的な生き方の憧れが小説を書くための原動力になったことや西南学院大学の明るいイメージが道を外さない歯止めとなったことにお互い共感しあうなど終始話が弾んでいました。また、最後に東山さんは「本は作者の意図を読み解かず自分の物語として読んでほしい」、沼田さんは「いつも最後まで読んでもらえることを心がけて小説を書いています」と語りました。

葉室麟さん(文学部卒業)が2012年に直木賞を受けたのを皮切りに、15年に東山さんが直木賞、17年には沼田さんが芥川賞と、卒業生に受賞者が相次ぎ、16年には葉室さんと東山さんの対談、

そして今回、東山さんと沼田さんの卒業生対談が実現しました。

沼田真佑さんは第3作目となる『夭折の女子の顔』(「すばる」2018年1月号)を発表し、また、東山彰良さんは17年に『僕が殺した人と僕を殺した人』で第34回織田作之助賞、18年に第69回読売文学賞を受賞しています。

両氏の今後ますますの活躍をお祈りいたします。



写真提供: 朝日新聞社

訃報



おたに ひろふみ
大谷 裕文 氏

国際文化学部国際文化学科教授
本学教授の大谷裕文氏が2017年11月8日、逝去されました。69歳。専門は文化人類学。謹んで哀悼の意を捧げます。



ふるかわ たくま
古川 卓萬 氏 名誉教授

本学名誉教授の古川卓萬氏が2017年11月29日、逝去されました。81歳。謹んで哀悼の意を捧げます。



よしおか なおこ
吉岡 直子 氏
人間科学部児童教育学科教授

本学教授の吉岡直子氏が2018年1月28日、逝去されました。64歳。専門は教育法学。謹んで哀悼の意を捧げます。



おざき けいこ
尾崎 恵子 氏 名誉教授

本学名誉教授の尾崎恵子氏が2018年2月1日、逝去されました。92歳。専門は絵画工芸。神の平安をお祈りいたします。

2017年度 被災地支援ボランティア活動報告会を開催しました

1月19日、西南コミュニティセンターにて、2017年度被災地支援ボランティア活動報告会を開催し、約60人の方が参加しました。2017年度は、302人の学生・教職員が東北、熊本、九州北部で活動しました。

報告会では、東日本大震災ボランティア、熊本地震ボランティア、九州北部豪雨ボランティア、熊本や神戸と宮城で開催されたフォーラムでの事例発表などがありました。このうち、昨年の九州北部豪雨では、「うきはベース」の段階に応じた活動が報告されました。発災直後から災害ボランティアセンター、ボランティアのための宿泊拠点の立ち上げ、家屋の泥出し、農圃の片付け、子どもたちとのイベントなど、時間の経過とともに被災地が必要とする支援は何か、を考えながら継続して活動が続いています。特に、福岡県、北九州市立大学、NPO法人ANGEL WINGSと共に全国の大学生の無料宿泊拠点である「うきはベース」の運営をしたことは、学生たちへ大きな示唆を与えてくれました。

現在も「何か力になりたい」と想いをもち続けている学生たちがいます。その想いを胸に、今後も東北や九州、仲間と自分をつなぐ「点」を残しながら、希望の光を照らし続けてほしいと願っています。

〈参考(2018年1月19日現在)〉

■2017年度 東日本大震災ボランティア参加者	39人
■2017年度 熊本地震ボランティア参加者	18人
■2017年度 九州北部豪雨ボランティア参加者	245人



西福戦(春季応援合戦)開催のお知らせ (九州六大学野球春季リーグ開幕戦)

日 時 4月14日(土) 16:30～(試合開始予定)
場 所 福岡ヤフオク!ドーム
試 合 西南学院大学 対 福岡大学
※在学生は入場無料



西南学院史資料センター企画展 「戦時下の西南学院と平和宣言」のご案内

西南学院は、2016年4月、学院創立百周年に、「西南学院創立百周年に当たっての平和宣言」を発表し、学院の戦争責任・戦後責任の告白と平和宣言を行いました。その意義は、東アジアにおける戦争の恐怖が現実的なものとして報じられる昨今において、ますます重いものとなっています。西南学院史資料センターには、戦時中のさまざまな歴史資料を所蔵しており、それらの歴史資料を中心に展示し、学院がどのような状況であったかを明らかにいたします。

テーマ 「戦時下の西南学院と平和宣言」
会 期 2018年3月1日(木)～5月19日(土)
時 間 9:00～17:00(最終入室は16:30)
休館日 日曜日
会 場 西南学院百年館(松緑館)
1階企画展示室
主 催 西南学院史資料センター



法学部「Seinan Vis Moot」チームがオーストリア・ウィーンでの 「国際模擬仲裁大会(Vis Moot)」に九州の大学から唯一出場します!

法学部の学生21人でつくる「Seinan Vis Moot」が、3月24日～29日にオーストリア・ウィーンで開催される「国際模擬仲裁大会(Vis Moot)」に、九州の大学から唯一出場します。

国際模擬商事仲裁大会(Vis Moot [William C.Vis International Commercial Arbitration Moot])とは、1993年より毎年3月にオーストリア・ウィーンで開催されている世界的に有名な、国際商取引に関する模擬仲裁大会で、米国ハーバード大学をはじめ、世界80カ国以上から集まった約360校が優勝を競っています。日本からは今年は本学(初出場)のほか、同志社大学、神戸大学、早稲田大学の4大学が参加します。

大会は、昨年10月に発表された課題の英文資料(約60頁)を読み込み、事案・論点の分析を行うことから始まります。申立人・被申立人双方の立場になって法的主張を組み立て、昨年12月に申立人側の、1月に被申立人側の準備書面(各50頁程度)を、本部に提出します。3月にウィーンで行われるのは、その準備書面をもとにした弁論です。

課題はすべて英語であり、UNCITRAL(国連商取引法委員会)モデル法やCISG(国際物品売買条約)といった国際的ルールについての文献資料もほとんど英語。さらに、準備書面も、弁論も英語で行わなければなりません。

UNCITRALや実務団体の後援を受けた大会であることもあって、今まさに実務で問題となりつつある最新のトピックが課題となっていたり、また弁論を審査するのは実務で活躍中の著名な仲裁人であったりと、国際取引法務の最前線を肌で感じることのできる大会です。

Seinan Vis Mootの歴史は昨年2月に遡ります。昨年2月に行われたVis Moot 日本大会を見学に行った法学部学生有志は、「同年代の人たちが

分厚い英語の問題を読み、それをもとに英語で議論している姿に、本当に驚いた」(法律学科3年 林桃子さん)そうです。「本学の学生にもぜひVis Mootに挑戦してほしい」と考えていた多田望教授と金谷真史准教授は、福岡の法律事務所(弁護士法人Bridge Rootsブリッジルーツ)に勤務するVis Moot経験者の姜成賢弁護士にコーチ就任を依頼し、ここからSeinan Vis Mootの活動が始まりました。

4年次生1人、3年次生12人、2年次生4人、1年次生4人は、昨年6月から週1回の定期会合をもち、準備を重ねていきました。英語が苦手な学生には、今川京子助教が特訓をほどこします。「経験者がおらず、何もかもがゼロからのスタートだったので、これでよいのかいつも不安だったが、仲間や先生とただ必死に前に進んできた」と、メンバーのダウンス啓太ジャックさん(国際関係法学科3年)は振り返ります。

被申立人側の準備書面提出締切直前の1月17日、図書館のグループ学習室に集まった学生たちは、資料片手に議論を重ねています。その眼差しは真剣そのものです。「初参戦なので、挑戦者として、恐れずに頑張りたい」と、松原祐二郎さん(国際関係法学科3年)は意気込みを語ります。コーチを務める姜弁護士は、「『国際商事仲裁』を舞台に、日本、そして世界の同世代の学生と議論を交わし、多くのものを得てほしい」と学生への期待を話します。

「Seinan Vis Moot」の歴史が始まって、およそ1年が経過した2月17日、「Seinan Vis Moot」チームは、Vis Moot 日本大会の日本語の部において、初出場ながら見事、優勝を飾りました。勢いそのままに、法学部「Seinan Vis Moot」チームは3月24日からのオーストリア・ウィーンの本大会に向けて、より一層の成長を見せてくれるものと期待されます。皆さまの応援をどうぞよろしくお願いします。



「Seinan Vis Moot」のメンバー。サポートするのは、姜成賢弁護士(前列左から2番目)、多田望法学部教授(同1番目)、金谷真史法学部准教授(後列左から1番目)、今川京子言語教育センター助教(同2番目)。



1月17日、図書館で準備書面の仕上げに取り組む学生たち。



法学部
国際関係法学科
佐古田 彰 教授

早稲田大学大学院法学研究科博士後期課程退学、小樽商科大学教員を経て、2016年4月に本学に着任。専門は国際法、特に国際環境法、海洋法、宇宙法。山口県出身。

時代を読む

教授の目線

社会で起こっているさまざまな事象を、先生方が独自の視点で語ります

「島なのか岩なのか」

2016年7月、国際裁判所は、フィリピンの主張を全面的に認めて、中国が南シナ海を九段線で囲い込んで資源独占しようとしたことは国際法に違反する、という判決を言い渡した。国際法の規定によると、島から200カイリ(約370km)までの海域の資源は島の領有国が独占できるが、岩の場合は資源独占できない。裁判所は、中国が自国の領土と主張している場所はどれも島ではなく岩などである、だから中国は資源独占できない、と結論づけたのである。中国の横暴に困っていた国や人々は、この判決を大いに歓迎した。日本政府も判決を歓迎した。しかし、これが思わぬところに飛び火した。

日本は、日本の最南端の領土である沖ノ島が水没しないよう300億円をかけて護岸工事を行ったが、判決の基準に従うと、沖ノ島は島ではなく岩という可能性が出てきたのである。岩ということになると、日本はこれまで独占していた沖ノ島島周辺海域の資源をすべて失うことになる。島なのか岩なのか。言葉の遊びに見えて、莫大な利益を左右する大問題である。

中国は、この判決は紙切れに過ぎないと無視を決め込んだ。フィリピンの新大統領は、中国に判決を守るよう迫るところか、中国にすり寄るような姿勢を見せている。日本政府は判決は沖ノ島島とは関係ないという。国際社会は一筋縄ではいかない。

しかし、当然ながら、政府がどう考えようと、判決は法的拘束力があり、判決の論理は一般化され他の事項に応用される。政府の思惑通りにはならない。その意味でも、国際社会は一筋縄ではないのである。

教員の新任・退職情報

お世話になりました

2018(平成30)年3月31日付退職教員

〈専任教員〉

松見 俊／神学部神学科 教授
E.B.コヴリーギン／法学部国際関係法学科 教授
磯 望／人間科学部児童教育学科 教授
賀戸 一郎／人間科学部社会福祉学科 教授
高野 学／商学部商学科 准教授
佐藤 正弘／商学部経営学科 准教授
前田 康孝／経済学部経済学科 准教授
李 善英／経済学部国際経済学科 准教授
内島美奈子／博物館 助教

〈外国語教員〉

T.B.カーティス／言語教育センター 助教

はじめまして 2018(平成30)年4月1日付就任予定者 ※()内は担当科目

〈専任教員〉

才藤千津子／神学部神学科 教授
(実践神学概論、牧会学)
倉元 綾子／人間科学部児童教育学科 教授
(子どもの食と栄養、家庭科教育研究)
森光 高大／商学部商学科 准教授
(管理会計論)
亀井 慶太／経済学部国際経済学科 准教授
(国際経済学)
藤永 豪／人間科学部児童教育学科 准教授
(環境地理、生活科概論、生活科教育研究)
河谷はるみ／人間科学部社会福祉学科 准教授
(社会保障概論、公的扶助論)
石田 由希／文学部英文学科 講師
(英語及び英文学科専攻科目)
小野寺香月／商学部経営学科 講師
(経営史・日本経営史)
藤田公二郎／国際文化学部国際文化学科
講師(倫理学)

〈外国語教員〉

ペイン ライアン ジェイムズ／言語教育センター 助教(英語)
矢倉 喬士／言語教育センター 助教(英語)
栗山 雅央／言語教育センター 助教(中国語)

2018年度前期エクステンション講座のご案内

本学ではあらゆる世代に“学びの場”を提供するため、さまざまな講座を開講しています。

公開講座

本学の教育・研究の成果を広く社会に還元し、地域社会との交流を図るための一般向け講座。
■ 人口減少社会のビジネス

リカレント講座

社会人が再び教育の場で最新の知識や技術を習得し、仕事や社会活動に活用していただくための講座。
■ 感性を磨く(第2回)

西南コミュニティセンター主催講座

本学と地域の皆さまとの交流の場「西南コミュニティセンター」で実施するさまざまなテーマの講座。

- 急がば回れ、英語の基本
 - English Book Club
 - ことばコミュニケーション講座
 - 文章講座Part1 ～「読む・書く・推敲する」を実践的に～
 - 文章講座Part2 ～長編を構想する～
 - 「古文書」を読もう Part1／Part2
 - キリスト教文学を豊かに味わう! 廃墟から蘇生へ
 - はじめての教会音楽
 - 西南学院オトナ塾×R60倶楽部連携講座
「世界は思ったよりもず～っと広い。
とっておきのオトナの旅教室」
「目指そう健康美姿勢! ノルディックウォーキング」
「目指せ!心も身体も軽くなるスッカリ&ヘルシーライフ」
 - 生涯健康に過ごすための『子育て』
～乳幼児から高齢者まで～
 - ポジティブ・エイジングのすすめ ～よく噛んで食べて健康長寿～
 - 災害時に命を守る行動と被災者支援活動について
 - 子どもを共に見守る社会へ ～福岡市の子ども事情～
 - ジャズという奇跡ーアフリカがアメリカでヨーロッパと出会う シリーズ2
 - 茶道入門(中級編)
 - 世界の偉人達に学ぶ人生の奥義Part2 ～講話と一人演劇
 - アドラー心理学による勇気づけコミュニケーション
 - 認知行動療法をめぐって ～自分の気持ちを整理するために～ Part1／Part2
 - コーチングによるリーダー開発 ～職場・家庭での実践コーチング～
 - こころと身体のためのヨーガ Part1／Part2
- 各講義テーマの詳細及びお申し込み方法については、ホームページでご確認ください。
【お問い合わせ】
- 西南学院大学 エクステンション課
TEL:092-823-3952(平日9時～17時) Mail:renkei@seinan-gu.ac.jp

OB・OGの新著紹介

『隣の人の投資生活』

くどう しょうたろう
工藤 将太郎(2006年・経済学部経済学科卒業)／著
2017年 株式会社クロスメディア・パブリッシング
(株式会社インプレス) 1,480円+税 224頁



6,000人もマネー相談から「お金に愛される人」と「お金に振り回される人」の実態がわかってきた。本書は主に20代・30代の人たちの投資生活を通じたエッセンスが凝縮されている。預貯金だけを貯めるだけでは私たちの将来資金は貯まりません。ではどうすればいいのか?本書は小説形式であり、「投資」という一般読者にとって敷居の高いテーマを、身近に感じることができる。小説から学ぶことで、一話一話のお話が多角的なアプローチで炙り出され、投資で失敗しないためのマネー哲学が身に付き、「一生お金に困らない」あなたに変わることができる。

『ケンタッキー流 部下の動かし方』

もり たいそう
森 泰造(1989年・文学部国際文化学科
(現・国際文化学部国際文化学科)卒業)／著
2017年 あさ出版 1,400円+税 231頁



本書は、世界中で効果を上げているKFC独自の人材育成法を主軸にし、5,000人以上の育成に携わり、ベテランから若手まで成長させてきたトレーニングコーチだからこそ知っている部下の生産性を上げる方法を公開している。
飲食業界の正社員の半数近くが3年以内で辞めていくといわれる中、KFCでは、新入社員の2年以内の離職率が0(ゼロ)という驚異的数字(2015年度)を出した。「親子二代で働き続ける」「長く勤める社員が多い」という会社のノウハウで、部下が「自分は認められている」「職場は自分が輝ける場所」と思えるようになり、成長する「ほめ方」「叱り方」、チーム力をアップさせる「部下のまとめ方」を、実際の現場で起こった事例を基に紹介している。さらに、本書を読み始める前の、「リーダーシップ度診断テスト」を行えば、今、自分に必要なテーマがすぐにわかり、お薦めの章から先に読んでいただくことも可能である。部下の育成が思うようにいかない、自分がリーダーとして機能しているのか不安に思うなど、人の動かし方で悩みを抱えている方は必見の内容である。

本学教授の新著紹介

『クオリティを高める福祉サービス：「苦情」から学ぶクオリティマネジメント』

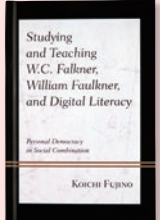
くらた やすみち
倉田 康道(人間科学部社会福祉学科教授)／著
2017年 学文社 1,900円+税 148頁



介護保険の創設により福祉業界は大きく変わった。さまざまな福祉サービスが誕生し、巷にはそれらのサービスを提供するたくさんの会社が溢れるようになった。社会福祉の分野に市場競争原理が導入されたなかで、顧客を確保し、クオリティの高い福祉サービスを提供することが要求されるようになった。求められるサービスを提供していくうえで社会福祉の専門性を理解した本質にかなうあり方を追求していかなければならない。本書は、20年近く介護保険サービス苦情処理委員としての業務に携わってきた著者が、これまでの実践に基づきサービスの質の向上にむけての示唆を分かりやすくまとめたものである。社会福祉を学ぶ学生、現場職員などに参考になる一冊。

Studying and Teaching W.C. Faulkner, William Faulkner, and Digital Literacy: Personal Democracy in Social Combination

ふじの こういち
藤野 功一(文学部英文学科教授)／著
2018年 Lexington Books 12,205円(税込) 276頁



インターネットとデジタル環境が発達した現在、英語を第二言語として学ぶ読者がアメリカ南部文学を読むことにはどのような意味があるだろうか。この問いに答えつつ、本書は20世紀アメリカ南部作家ウィリアム・フォークナーと、その曽祖父で19世紀大衆作家のウィリアム・クラーク・フォークナーという二人の作品における影響関係と歴史的発展をたどり、さらに両作家が現在の国境を超えて広がるデジタル・ネットワークの中でどう位置付けられるかを考察する。さらに、アメリカ南部文学に頻出する、一時的に平等な関係を築こうとする個人的関係をソーシャル・コンビネーションと規定し、この関係をグローバル社会での新たな民主的社会編成の起点と考え、その研究と教育の意義を論じる。

西南学院大学公式Facebook、Twitter、YouTubeをはじめました!

みなさまからの「いいね!」をお待ちしています!



[Facebook]
https://www.facebook.com/seinan.gu
[Twitter]
https://twitter.com/seinan_gu
[YouTube]
https://www.youtube.com/channel/UCo0MQ5b0FNXql6cDJop6NfA

Calendar 2018 Spring

4 April

2日(月) 入学式(学部・大学院・法科大学院)
3日(火) オリエンテーション(学部／～6日(金))
前期授業開始(法科大学院)
9日(月) 前期授業開始(学部・大学院)
14日(土) 九州六大学野球春季応援合戦
(対:福岡大学)

5 May

15日(火) 学院創立記念日(全校休講)
29日(火) 春季キリスト教フォーカス・ウィーク
(～31日(木))
時間:10:20～11:20
場所:大学チャペル
31日(木) C.K.ドージャー先生記念日

6 June

中旬 九州地区大学体育大会夏季大会
(於:福岡)

英字新聞『Seinan News』

世界情勢が不安定になりつつあった1935年、米国南部バプテスト連盟の支援で開設された西南学院と西南女学院の実情を米国に知ってもらうため英字新聞『Seinan News』が発行されました。この新聞は、全4ページ、ブランケット判で、発行部数は1,300部。水町義夫院長・原松太西南女学院院長がチーフ・エディターを務め、小野兵衛教授が発行人となり、6月25日付の発行で神戸の中外出版社に印刷を依頼しました。

1面には、米国の南部バプテストの人々に呼びかける水町院長の親愛のメッセージや西南学院と西南女学院の学生生徒1,367人で今年度の学びが始まったことなどが綴られています。2面には、ドージャー夫人のモードが1916年から1935年までの西南学院の歩みを執筆しています。また、3面は、中学部のチャペルを守っている生徒の様子を大きな写真で紹介し、高等学部や西南女学院、西南学院バプテスト教会などの現状も報告しています。最終面は、10枚の写真で学校の姿やミッションボードのマドレー総主事と南部バプテスト神学校ウエザースプーン教授が来学した様子などを伝えています。

英字新聞発行の目的は、米国の各学校・教会などに送り、バプテスト教会の支援によって西南学院と西南女学院が着実な歩みを続けていることや、日本における地位の重要性を深く認識してもらうことにありました。その背景には、米国からの支援が途絶えることを危惧し、友好関係を存続したいという切実な願いがあったのではないかと考えられます。

英字新聞は、マドレー一行の再来日に間に合うように作成し、約1,000部を一行に依頼して米国へ託送してもらいました。米国に送るため、紙も上質のものが使用されるなど仕上がりもよく、学生には実費5銭で販売されました。多くの人から賞讃された英字新聞は、年3回発行する予定でしたが、国際情勢の悪化にともない、同年11月に第2号を発行しただけで中止になったことは止むを得ないとは言え、残念なことでした。



英字新聞『Seinan News』(1935年6月25日発行)